

SEPTEMBER · NEWSLETTER 婦人より～

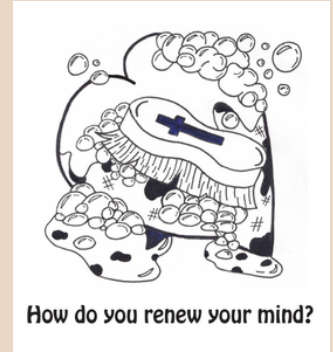
- バイブルリーディング

毎日一章、家族での聖書通読を初めて、1ヶ月が経ちました。同じ家に住むメンバーですが、小学生から大学生の子ども5人と勤務時間が日によって違う主人、全員顔を合わせるの難しいかと最初は思われましたが、家族で読むことを牧師夫人より勧められて始めました。

みことばから始まる一日を過ごす中で、すぐにわからないところは生活の中で思い出したり、もう一度自分だけで読んでみたりと、神様との交わりを待つことの大切さも教えられています。

最近、日本に住む母と近況など話さず中で、毎日のバイブルリーディングの話しになり、母もぜひ参加したいということで加わりました。遠く離れていても同じ神様を信じ、同じみことばで励まされ、祈り合う時が与えられていることも感謝します。(H.N)

あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ (イザヤ54:2)。



今朝、久しぶりにキッチンのゴミ箱を洗いました。よく見ると、内側も外側も、生ゴミの汁やホコリで汚れていることに気づきました。

重曹とタワシでゴシゴシとこすり洗いをすると、ゴミ箱はあっという間に真っ白な姿へと変わりました。洗っている最中、ふと、自分の心もこのゴミ箱と同じなのだと気づかれました。毎週教会に通い、聖書のことばに耳を傾け、自分の悪い考えや思いを受け入れ認めることで、父なる神様やイエス様がタワシを手に取り、私の心にこびりついた汚れを洗い流してくださっているのです。真っ白でピカピカになったゴミ箱を見て、私は嬉しくなりました。父なる神様もいつも私の心をこのように見ていてくださるのだと思い、日々の生活における神様の恵みに感謝の念を抱きました。

あなたも教会に来て、聖書のことばを通して心を新しくしてみませんか?(R.L)

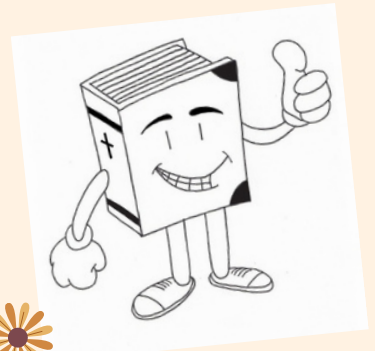
だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

(第2コリント人への手紙 5:17)

- 教会イベントに参加して

9月7日のレイバーデーは教会の案内(トラクト)配りと海水浴に参加しました。ビーチのPIERで男性グループは賛美とギター、ドラムをして、婦人のグループは通りを行き交う方々に教会の案内を渡しました。そのあとは、みんなで浜辺で昼食を取り、今年最後の海水浴をみんなで楽しみました。スイカ割りも行い、子供は3歳から大人までアクティビティに参加し、みんなで良い交わりの時間を過ごしました。

今回は、子供の友達も初めてダヴァール教会のアクティビティに参加しました。ユースの大学生や高校生のお姉さん達がよく面倒をみてくださり、楽しい時間を過ごすことができました。みんなが良い一日を過ごせるよう、牧師夫人が多く準備とアレンジをしてくださり、感謝でした。いつもすべてを導いて下さる良き神様に感謝します。(H.S)



- 秋の聖書セミナー 参加して

9月18日～25日、名古屋へ行ってきました。8月26日、名古屋でシルバークウィーク期間に聖書セミナーがあることを知り、「行きたいなあ」という漠然とした思いが与えられたことから、今回の旅は始まりました。その日の夜、教会の友人に、日本へ行きたいと思っていること、会社でのお休みが取れそうなこと、そしてグリーンカードの有効期限が9月22日に迫っていることを話しました。すると友人から、最近カードの更新には3年ほど時間を要するようで、「まず、その更新が先じゃない?」と促され、その日の夜にグリーンカード更新の申請をしました。すると翌日、有効期限から36か月延長されるという通知を受け取り、さらにその翌日には、9月16日に指紋採取のアポイントが入ったという知らせを受け取りました。このことをはじめとして今回の旅行を振り返ると、本当に不思議なくらい、一つひとつのことが、道を開かれるように進んでいきました。もちろん、すべてが簡単だったわけではありません。出発までには、滞在先の手続きや支払い、移動の準備、そしてグリーンカードの更新など、心配になることもたくさんありました。グリーンカードについては、「このタイミングで日本へ行って大丈夫だろうか?」そんな思いもありました。滞在先を探すことも簡単ではありませんでした。ちょうどセミナーの時期が、32年ぶりに日本で開催される愛知・名古屋アジア競技大会と重なっていました。43競技、469種目が行われる大きなスポーツイベントです。その影響もあり、ホテルはどこも満室。空室があっても、目的地の教会から片道1時間半以上、料金は普段の3倍、4倍という料金になっていました。そこで最後に残った方法として、思い切ってアパートを1か月借りることにしました。

そうして一つひとつ必要なことを済ませ、私は日本へ向かいました。出発の2週間ほど前から、名古屋は毎日のように雨。私の滞在中も雨予報が続き、さらに大型の台風が名古屋に近づくとも言われていました。乾いたカリフォルニアから行く私にとっては、「これはどうしたものか?」と思い、雨具もしっかり準備して出発しました。日本に着いてからも、すべてが予定通りにいったわけではありません。けれど、思いがけないハプニングが、かえって良い方向へ転がっていく。そんなことも何度か経験しました。

そしてセミナーでは、これまでオンラインでしかお会いしたことのない方々に、実際に会うことができました。かつてロサンゼルスに住んでいて、その後日本へ帰国した仲間との再会もありました。そして何よりも、兄弟姉妹と共に礼拝し、同じみことば(聖書のことば)を聴き、同じ時間を過ごすことができました。それは「楽しかった」ということばだけでは表すことのできない、とても平和な時間でした。兄弟姉妹と共に過ごすこの平和な時間そのものが、私にとって、とても大きな喜びでした。そしてアメリカへ帰ってき、さらに驚くことがありました。新しいグリーンカードが、もう届いたのです。こんなに早く届くとは思っていませんでした。そして、あんなに心配していた雨は、滞在中、名古屋では一度も降りませんでした。私は、何かを受け取ることだけが「祝福」ではないと知っています。自分の願った通りになることだけが、神さまの恵みでもありません。けれど今回の旅を通して、不安の中でも一歩進むこと。必要な時に道が開かれること。守られて帰ってこられること。兄弟姉妹と共に、平和な時を過ごせること。そして、「行ってよかった」と心から思えること。その一つひとつが、私にとって大きな祝福でした。山もありました。谷もありました。それでも振り返ってみると、その道のすべてに、神さまの御手があったように思います。

「主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。」詩篇23:1

9月のシルバークウィークの名古屋。行ってよかった。そして神さま、ありがとうございます。(J.K)

